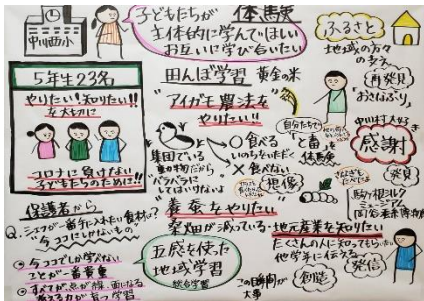


# 郷土愛通信

令和2年12月21日  
第11号  
郷土愛プロジェクト

## 未来ラボin伊那谷vol.3

## 「グラフィックレコーディング」研修会 12.3



グラフィックレコーディングとは・・・  
議論や対話などを絵や図などに可視化して記録していくファシリテーションの手法。会議の内容を一つの絵として見せることで関係性や構造が直感的にわかります。「絵のついた議事録」とどまらない、議論をより良いものとする手法として、今注目を集めています。

12月3日(木)に「第3回未来ラボin伊那谷」が開催されました。今回は、第7回産学官交流会で話題になった「グラフィックレコーディング」の研修会を、箕輪町社会福祉協議会西澤智美さんを講師に開催しました。今回もオンラインと会場での参加というハイブリット開催とし、20名ほどの方々にご参加いただきました。



「絵が苦手なのに、絵で会議の内容を表すなんて」と思い、緊張して参加しましたが、絵の基本は○と△で構成すればいいことを教えてもらい、私にもでき

ると、嬉しくなりました。これまでの会議では、黙々とメモを取ることをしてきましたが、これを使えば、会議の目的が明確になり、楽しい会議になりそうです。(参加者感想)

次回はグラフィックファシリテーション研修を計画!



「未来ラボin伊那谷」は、本年度の新規事業として立ち上げた事業です。講演会、研修会などさまざまな学びを共有しながら、参加者が互いに自分の考えを述べあい、「自己の明日のアクション」に繋げていきたいと考えています。同時に、私たちの住む伊那谷のこれからをつくるリーダーの育成にもつなげたいと考えています。

これまで3回、会を開催してきましたが、今年度のキャリア教育産学官交流会へご参加くださった飯田の方が未来ラボに参加してくださるなど、人が人をつなぎ、新たなご縁がたくさん生まれています。

これからも、人の輪、人のつながりを大事にして、この事業を継続していきたいと考えています。

次回の「未来ラボ」をお楽しみに!!

近日動画が配信予定!  
乞うご期待





10月19日(月)に延期になっていた「キャリア教育産学官交流会」が中川会場とオンラインのハイブリット開催でした。今年は、231名の皆様の参加をいただきました。会場には、太田副知事、信州大学学長、中川村村長、信濃教育会長の来賓をはじめ、本年度は、飯田市教育委員会、南信州地域振興局、下伊那教頭会からのご参加をいただきました。オンラインでは、広島、横浜など日本各地からのご参加もいただき、オンラインのよさが活き、また多様な方々のご意見を伺う機会となりました。同時に、上伊那の産学官が一つになって取り組んでいるキャリア教育の発信にもつながりました。

中川村様には、昨年度の準備段階から、本当に村を挙げて開催についてご準備いただきました。御礼申し上げます。

ご参会いただきました皆様、ご活用の中ありがとうございました。アクション起こしていただけますか？またお会いできる日を楽しみにしています。

## 2020.10.19 中川村発 第7回キャリア教育産学官交流会

### 【いただいた感想】

先日は「withコロナ時代、ふるさとでの未来づくりをどうしていくのか」第7回キャリア教育産学官交流会に参加させていただき、厚くお礼を申し上げます。コロナ禍の中で地域や学校の行事等が中止、縮小している今、郷土愛プロジェクトの皆さまの熱意が伝わってきました。あまりの感激で、足取り軽やかに帰路につきました。

中川西小学校のアイガモ農法や蚕を題材とした命と向き合う実践、そして中川中学校のふるさと中川をテーマにしたそれぞれのプロジェクトの実践はとても興味深いものでした。身近にあるものを材として取り上げ、学校のみならず保護者や地域を巻き込んで活動を進め、学びを深めている姿に感動しました。「地域を愛する心」というのは、一朝一夕に育つものではありません。地道な活動の積み上げの中で、徐々に子どもたちの心の中に芽生えてくる地域への理解や愛着が、キャリア教育の基礎となっていくのだと思いました。

キャリア教育の充実のためには、学校の外に出て（あるいは学校外の人を巻き込んで）人や社会とつながる学びを進めていくことが大切になると思います。中川西小学校や中川中学校の実践発表は、まさにそれを体現するもので、大変勉強になりました。教師が個々にそのような学びを構想していくことも大切ですが、誰が担任になってもそれができる仕組みや受け皿を用意しておく必要があると思いました。郷土愛プロジェクトのような産学官のつながりは、下伊那も含めどの地域でも必要だと感じました。キャリア教育は、地域とのかかわりなくして語ることはできません。自分の身近な地域のもの・こと・ひとから学ぶことは多いです。それが実感できた今回の視察研修でした。半面、我々教師は、「学校での学び」が社会を支え、活用され、私たちの暮ら

しを支えているという認識で子どもたちに接していきたいと考えます。







## テーマ:みんなで育てよう 地域子ども 郷土愛 ～withコロナ時代、ふるさとの未来づくりをどうしていくのか～

▶私は上伊那で育ったのですが、上伊那をこんなに思ってくれている人がたくさんいて、とても感動しました。たくさんの方が集まらない中、オンラインでたくさんの方、幅広い年代の方と意見交換ができてとてもいい経験になりました。

▶様々な職種、年齢の方たちと話す機会があったことは貴重な経験となりました。また、自分はまだこの土地に来て半年ですので、長く住まわれている方々や、自分のように移り住んできた方の想いを直接お聞きできたことは大変嬉しいことであると感じています。

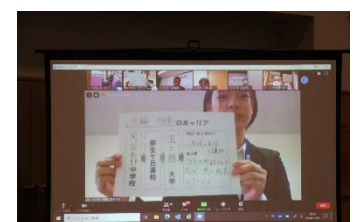
▶普段つながりをもたない分野の方と意見を交換することができ、非常に貴重な体験となりました。特に中学校の生徒さんの声を直接聞くことができたのは、とても興味深かったです。ふるさとの未来を考えるにあたって、今後を担う若者の率直な意見はとても参考になると感じました。Uターンの学生が現実となり7年間の活動の成果がリアル化され嬉しかった。継続は力なり。

▶コロナ禍での開催でしたが、目的を達成するため手段を見直すことは、行事や業務にも通じる考え方だと思いました。

▶オンラインでありながら、会に参加している高揚感がありました。それぞれの発表も大変中身が濃いもので、参考になりました。



186901435





# キャリア教育コーディネーター事業

＝学校のニーズに合うコーディネーターをめざして＝

## 辰野高等学校2年生分野別進路ガイダンス

10月15日（木）に辰野高等学校2年生150名の内、就職希望生徒を中心に進路ガイダンスを実施しました。

講師は、管内で働くサービス業、行政、製造業、農業、貿易業など17名にお願いし、1グループ5～7人ほどで20分を1サイクルに、時間内3人の方々から、仕事の話や人生についてのお話や講師との対話の時間で、これからの生き方を考えるきっかけの勉強会を行いました。



### 【生徒さんの感想】

○3人の講師の方から話を聞いて、すごく自分の為になったなあと思いました。大人になると、思うようにできないこともあるけど、今だからできることもあるんだなあと思いました。就職に向けて、気を付けること、働くこと、」人生について考えるきっかけをもらいました。

○大人は仲間の存在を大切にしていることがわかりました、その中でも、」コミュニケーションをとることの大切さを知ったので、自分にもコミュニケーション能力をつけたいと思います。

## 伊那北高等学校1年生キャリア教育授業



【こんにちは先輩】10月22日に「地域課題に対して、自分らしいアプローチをしているか」「SDGsの観点で未来志向で活躍する地域人」18人をお招きして、講師の方への質問形式での授業が行われました。質問形式は初めての試みでしたが、生徒が事前に講師の職業や生き方について学習していたことから、目的をもって講師の話を聴くことができ、これからの課題学習や自分の進路について、より身近に聞くことができたように思います。

【フィールドワーク】11月12日に、4つのテーマ別コースを選択して、地域人に学ぶ学習を行いました。コースは①食と農②福祉・防災③産業と技術④環境・自然・森林です。「こんにちは先輩」の学習から、生徒が個々に自分の探求してみたいテーマを決め、当日に臨みました。



### 【生徒さんの感想】

○印象に残った言葉は、「すべては模倣から始まる」「熱量の違いが出たときにこそ真価が表れる」という言葉です。「好き」を仕事にすることの楽しさと苦しさが伝わってきました。その仕事を愛している人のみが集まるとは限らないし、人をコントロールすることはできないのだから、自分がいかに寛容になれるかが大事だと聞いて、今の自分を振り返り、そして自分の将来を考えたときにこの学びを活かしたいと思った。好きだから辛いし好きだから続けようと覚悟がきめられるのだと実感した。○もともと発達障がいのことや心の病気について興味があり、中学では養護学校へ職場体験にいきました。今回、専門家の話を伺い「心を完璧に読み取ることはできない、だからこそ、人と丁寧に接して、少しでも良い方向へ導いていく仕事は、とても大切でありなくてはならない存在だと感じた。